

# TC 通信

№86 2019年3月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。(旧 YA 通信)
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。

New!!



## 『15歳までに知っておきたい言葉1800』

早稲田スクール/監修 学研プラス 81/シ/18

小説や国語のテキストなど読んでいる時、テレビを見ている時に「この単語って？」と思ったことはありませんか？  
いまさら人に聞くのは微妙、辞書を都度調べるのもイヤ、しっかり説明できるかと言われてもいまいち、そんな時はこの本の出番です。  
熟語・慣用句・故事成語・外来語など1800語が基本、標準、高得点と3段階に分かれていますので、とっても見やすくわかりやすい。さらにイラストが付いていますので、読みやすいうえに、振り仮名付き。なんとなく把握していたつもりのものが、実は違う意味だったりするかもしれません。  
お恥ずかしながら私も知らない単語がありましたので、15歳以上の方にも、お使いいただける本となっております。  
そう、まさに新学期の自己紹介や、作文などきっとこの本を読んでもらえば言葉が増え、素晴らしい作品ができること間違いなしです。

## 名作 たからばこ



### 『嘘の木』

フランシス=ハーディング/著 児玉 敦子/訳  
東京創元社 933.7/ウ/17



高名な牧師で博物学者サンダリー師による世紀の発見、翼ある人類の化石。それが捏造だといううわさが流れ、一家は世間の目を逃れるように小さな島へ移住する。だが噂は島にも追いかけてきた。そんな中、父サンダリー師が謎の死を遂げる。

娘のフェイスは、父の死に疑問を抱く……。謎めいた父の手記。“嘘を養分に育ち、食べた者に真実を見せる実のなる不思議な木”フェイスはその木を利用して、父の死の真相を暴く決心をする。

現代では当たり前になっていますが、その時代、女性は男性に劣ると考えられており、そんな中、何もできない小さな女の子と思われていたフェイスが、少しずつ成長しさまざまな事態を乗り越えていく姿は感動的です。

コスタ大賞・児童文学部門賞をダブル受賞した大作ファンタジー。

# テーマ 卒業

今回のテーマは「卒業」です。  
学校を卒業する人にも、お世話になった先輩を見送る人にも、ぜひ読んで欲しい本を集めました。



## 『一日一文』 木田 元/編 岩波書店 159.8/イ/18 4階文庫

卒業する皆さん、春から新しい環境に身をおく皆さんに贈ります。  
春は別れと出会いの季節、チャンスをつかむ絶好の機会です。  
学校は卒業できますが、人生に卒業はありません。日々何かを積み重ねてきつと人は生きているのです、たぶん。なんだかちょっといいことを言った気分になったので、この本を紹介します。私とは違い、偉人たちの選りすぐりの言葉が366掲載されています。  
既に単行本で2004年に発行されているものですが、今回文庫本として満を持しての登場です。  
1ページにつき1文と人物紹介が書かれていますので、とても見やすく読みやすいです。  
さらに日付への配置も配慮されていますので、自分の誕生日や記念日は誰かな？という楽しみもあります。あなたはどの1文が気に入りましたか？  
新しい出会いを迎える春、なにか1つでもみなさんの心に響くものがありますように。

## 『春へつづく』 加藤 千恵/著 ポプラ社 913/ホフ/13

卒業式の朝だけ、願い事を叶えてくれる「あかずの教室」の扉が開く・・・  
そこに行き、窓の外に向かって願いを唱えると叶えられるという。願う時のポーズも決まっているけれど、それがどんなポーズかもわからない。  
そんな不思議なジンクスが伝わる中学校を舞台に物語は静かに描かれます。  
一日も早く大人になりたいと願う中一女子、修学旅行で人生初の告白をしようと奮闘する中三男子、自称“本の森の番人で千二百歳”の学校司書の先生・・・。  
彼そして彼女たちはいったい何を願うのか。  
特に大きな事件が起きるというわけではない、だからこそ描かれている今という時間が印象に残ります。  
切なくて温かい八つの物語。柔らかいタッチの装画も素敵でお話に合っています。



## 『卒業の歌』 本田 有明/著 PHP研究所 913/ヒエ/09 3階児童

小学6年生の翔太君は、入院したおばあちゃんの願いを叶えるため、同じ病院にお母さんが入院する同級生の細川さんと「誕生日の贈り物」という歌を作ります。  
そのことを聞いた同じクラスの滝田君は、合唱コンクールで歌う歌を2人に作ってもらおうと提案しますが、なぜかクラスのみんなから集めた一言をつなげて「明るく、手を叩いて笑える卒業の歌」を作ることになってしまっ・・・。  
はじめはバラバラだったクラスが徐々に一致団結していく姿がとても印象的で、まさに「青春！！」という作品です。翔太君をはじめ翔太君と同じクラスに登場する生徒たちは、どこの学校にもいそうで、とても親近感が湧きます。  
さらに作中に登場する「誕生日の贈り物」「卒業の歌は出会いの歌」の楽譜も載っているので、皆さんも歌ってみてはいかがでしょうか。

## 『夜のピクニック』 恩田 陸/著 新潮社 F/オン/04

高校生活最後の一大イベント、北高伝統の「歩行祭」。80kmの道のりを24時間かけてひたすら歩くのだ。主人公の貴子はこの歩行祭で、秘かに小さな賭けをする。それは複雑な事情をかかえた異母兄弟のクラスメート融と話すこと。  
生徒たちは、完走できるか不安をかかえながら歩き始める。日が沈み、夜がくる。足の痛みや疲れが増すにつれ、しだいに心にまとったよろいのようなものが、はらりはらりと外れてゆく。夜の深い時間にみんなで歩き続けるという非日常の中、自分と向き合い、友と語り合う濃密な時間を過す。やがて、疲労困憊の体を引きずりながらゴールが近づく…。果たして貴子の賭けの行方は・・・？  
本作の読み所は読者も一緒に歩行祭に参加しているような感覚にさせてくれるところ。読み終わったときには、歩きとおした達成感、爽快感をあげようこと間違いなし！永遠の青春小説をぜひ“体験”してみてください。第2回本屋大賞、第26回吉川英治文学新人賞受賞作。





# ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)

『アンジェラの灰』 フランク=マコート/著 土屋 政雄/訳

新潮社 (Crest books) 289.3/ア/98 閉架一般



1930年代、アイルランドを舞台に、マコートとその兄弟たちが目も当てられない極貧の中でも日々ユーモアを忘れず生きていく、まさしくCrestな回想録です。子どもたち、なんでそんなに明るい？

パパ、なんでそんなに余裕なの？

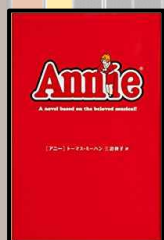
ママ、なんでそんなに優しいの？

涙も出てくるけど、笑いも止まらない。読んでみなければこの矛盾を伝えることは困難、そして私たちの知らないアイルランド人のアイデンティティがすべてのバックグラウンド。

1996年ピューリッツァー賞受賞作、長編ですが、著者マコートの歯切れ良い文章、土屋政雄のリズム感ある翻訳はそれを感じさせません。1999年には映画化もされています。続編に『アンジェラの祈り』があり、この本を読むことでタイトルの意味が解明されます。ぜひとも2冊合わせて読んでみてください！

## 図書館員 K の本棚

みなさん、こんにちは！！(こんばんは？)。今回は私、図書館員“K”がお送りします！！早速ですがみなさんミュージカルは、お好きですか？最近では歌番組で特集されたり、有名な俳優さんがミュージカルの舞台にたったりとミュージカル界がより盛り上がってきています。でも「正直、ちょっと苦手～」と思っている人もいるかも知れません。そこで私の本棚では、ミュージカルの魅力を伝える本や書籍化されている作品などをご紹介します。読めばあなたのミュージカル熱が上がること間違い無し…のはず！！



『アニー』  
トーマス=ミーハン/著  
三辺 律子/訳  
あすなろ書房  
98/77/14 3階児童



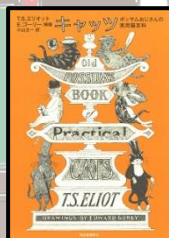
『All about 劇団四季レパトリー  
ミュージカル教室へようこそ!』  
安倍 寧/著  
日之出出版  
775.4/ミ/18 4F一般



『知識ゼロからのミュージカル入門』  
塩田 明弘/監修  
幻冬舎  
775.4/チ/09 4F一般



『レ・ミゼラブル』  
V.ユゴー/作  
三田村 信行/文  
狩野 富貴子/絵  
ポプラ社 95/ホフ/18 3階児童



『キャッツ』  
T.S.エリオット/著  
E.ゴレー/挿画 小山 太一/訳  
河出書房新社  
931.7/キ/15 4階一般



TC担当イチオシ!

## 『人類滅亡小説』

山田宗樹/著 幻冬舎 F/ヤマ/18 4階一般

### どんな本?

映画化、ドラマ化されベストセラーになった『嫌われ松子の一生』(2003年)や『百年法』(2012年)などの著者、山田宗樹によるスペースSF。

自然環境が激変し、地球滅亡が刻々と迫るなかで、人はどう生きるのかを描いた長編。「命を繋ぐ」意味を考えさせられる1冊。

### ここがオススメ!

自然環境が激変し、地球が滅びるとしたら...

人類滅亡を目前にひかえた時、人はどう生きていくのか?

宗教に身を投じる人。全員で一緒に死のうと主張する人。人類の希望をつなぐために自分の身は顧みずに働く人。愛する人のためにあえて生き残ることを選ぶ人など、さまざまな立場の人たちが、複雑な感情のもと、悩み、葛藤する姿を生々しく描きながら、「生きるとは何か?」を問いかける。何世代にもわたる壮大な生命のバトンリレーの行きつく先、「最終章」に、じんわり胸が熱くなる!

## ティーンズコーナーとは??

中高生(ティーンズ)世代に向けたさまざまなジャンルの本を集めたコーナー。図書館3階にあります。大きな看板が目印!

児童書よりも文字数が多くむずかしい本へのステップアップをはじめ、悩み解決のヒントになる本・知識を深める本・趣味を広げる本などをたくさん用意しています。

「〇〇について調べたい!」  
「△△の本はどこ?」など、  
本に関する相談や探し物は  
職員に気軽に聞いてみてね。



発行:春日井市図書館

春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。